

日本史

日 本 史

第1問 「鉄の歴史」に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 弥生時代、中国や朝鮮半島から、^a青銅器とほぼ同じ頃に鉄器が日本列島に伝来した。しかし、製鉄の技術が確立されていなかったため、鉄鋌とよばれる鉄素材が欠かせなかった。そこでヤマト政権は、鉄鋌を確保するために朝鮮半島に進出した。[ア]の業績を記した碑文には、倭国が南下を進める高句麗と交戦したことが記されている。

6世紀中頃になると、近畿地方や中国地方で製鉄が始まった。ヤマト政権は、技術者集団に渡来人を編成していた。その中の一つである[イ]が鉄製品の生産に従事するなど、製鉄には渡来人系の勢力が大きく関わっていた。

問1 空欄[ア]・[イ]に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [1]

- ① アー好太王 イー史部
- ② アー好太王 イー韓鍛冶部
- ③ アー聖明王 イー史部
- ④ アー聖明王 イー韓鍛冶部

問2 下線部④に関連して、300本以上の銅剣がまとまって出土した遺跡の所在地として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。



B 中世の荘園では、米だけでなく多様な品物が年貢として納められていた。製鉄が盛んであった中国地方では、鉄が年貢として納められていた荘園がみられる。備中国新見荘はその一例である。また、農村内には鉄製品を生産する手工業者も居住し、⑥農業技術の発達に貢献した。

17世紀末には、天秤ふいご（送風装置）が発明されるなどして製鉄技術が進歩し、近世にかけて鉄の増産が進んだ。鉄製品の流通が盛んになる中、江戸時代中期の⑦田沼意次が政治を主導した時代には、鉄の専売を行うために鉄座が設けられた。19世紀には、⑧幕府だけでなく諸藩においても財政再建をめざした改革が行われ、西洋の技術を取り入れた反射炉を築造する藩もみられた。

問3 下線部⑥に関連して、中世の農業に関して述べた次の文 **a** ~ **d** について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 3

- a 鎌倉時代には、畿内や西日本でそばを裏作とする二毛作が普及した。
- b 鎌倉時代には、牛馬に犁を引かせる牛馬耕が普及した。
- c 室町時代には、早稲・中稲・晩稲の作付けが行われた。
- d 室町時代には、肥料として干鰯など金肥が用いられた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問4 下線部⑦の政策について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

4

- ① 定量の計数銀貨を鑄造し、貨幣制度の一元化をはかった。
- ② 物価騰貴に対処するため、株仲間を解散した。
- ③ 閑院宮家を創設し、朝幕関係の融和をはかった。
- ④ 「公事方御定書」を編纂し、裁判や刑罰の基準を定めた。

問5 下線部⑧に関連して、19世紀前半に西国の雄藩で行われた改革や政策について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 5

- ① 鹿児島（薩摩）藩では、琉球王国を通じて清国との密貿易を行った。
- ② 萩（長州）藩では、本百姓体制再建のため均田制が実施された。
- ③ 高知（土佐）藩では、藩校である興譲館の再興が行われた。
- ④ 佐賀（肥前）藩では、村田清風を中心に改革が進められた。

C 明治時代には、軍事工業や造船業などの発展にともない、鉄鋼の需要が高まったが、その大半は輸入に依存していた。そこで、鉄鋼の国産化をめざして、1897年に官営の「ウ」が設立された。その後、「ウ」の拡張に加えて鞍山製鉄所などが設立され、鉄鋼の生産が拡大した。

1930年代になると、軍事費の増大に支えられて鉄鋼業はさらに発展した。日中戦争の長期化を受け、日本は軍需生産を優先させる体制に移行した。この戦時経済体制のもと、1941年に金属類回収令が公布され、国民は金属製品の「エ」を求められた。

その後太平洋戦争においてサイパン島が陥落すると、日本本土への空襲が激化し、多くの工場が被災した。そのため、鉄鋼業の生産は大幅に減少した。敗戦後、日本政府は復興の足がかりとして、鉄鋼業など基幹産業に資金と資材を集中的に投下する^㉔傾斜生産方式を採用した。

問6 空欄「ウ」・「エ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。「6」

- ① ウー八幡製鉄所 エー供出
- ② ウー八幡製鉄所 エー配給
- ③ ウー日本製鉄会社 エー供出
- ④ ウー日本製鉄会社 エー配給

問7 下線部^㉔に関する次の文Ⅰ・Ⅱの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。「7」

- Ⅰ この方式は、シャウプ勧告に基づいて採用された。
- Ⅱ この方式を支えた復興金融金庫の資金供給により、インフレが収束した。

- ① Ⅰー正 Ⅱー正 ② Ⅰー正 Ⅱー誤
- ③ Ⅰー誤 Ⅱー正 ④ Ⅰー誤 Ⅱー誤

第2問 原始・古代・中世初期の政治・外交に関する文章 A～C を読み、次の問い（問1～8）に答えよ。

A 弥生時代の日本列島では、小国が分立していた。『漢書』地理志には、紀元前1世紀頃、を通じて中国に朝貢を行う小国があったと記されている。この関係はその後も続き、
a 倭は中国皇帝を頂点とする冊封体制に組み込まれていった。

5世紀には、倭の五王があいついで中国のに朝貢した。478年に遣使した倭王武は上表文を提出し、先祖以来の功績を述べ、それにふさわしい称号を求めた。その結果、武は安東大將軍倭王に任命されたが、高句麗などより低い位置づけであった。

外交姿勢に変化がみられたのは、b 推古天皇の時期であった。607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、皇帝に国書を提出した。この国書には皇帝に臣属しない姿勢が示されていた。皇帝は国書の内容に不満をおぼえたが、倭に答礼使を派遣した。

問1 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー帯方郡 イー北朝 ② アー帯方郡 イー南朝
③ アー楽浪郡 イー北朝 ④ アー楽浪郡 イー南朝

問2 下線部aの時期の出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 卑弥呼が皇帝から「親魏倭王」の称号などを授かった。
Ⅱ 倭国王帥升等が生口160人を皇帝に献上した。
Ⅲ 奴国の王が皇帝から印綬などを授かった。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問3 下線部bの時期の出来事に関する次の文Ⅰ・Ⅱの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 冠位十二階が定められ、氏族ごとに冠位が与えられた。
Ⅱ 仏教や儒教の思想を取り入れた憲法十七条が定められた。

- ① Ⅰ—正 Ⅱ—正 ② Ⅰ—正 Ⅱ—誤
③ Ⅰ—誤 Ⅱ—正 ④ Ⅰ—誤 Ⅱ—誤

B 7世紀後半以降、律令国家の建設に向けて整備が加速し、701年に大宝律令が制定された。その頃、中国東北部に[ウ]が建国され、唐や新羅と対立したことから、[ウ]は日本にたびたび使節を派遣した。また、新羅も唐との関係悪化を背景に日本に使節を送った。しかし、日本が新羅を従属国として扱おうとしたため、両国関係はたびたび緊張した。

そうした状況のもと、^㉞藤原仲麻呂が新羅攻撃の計画を進めた。この計画は、仲麻呂が戦乱で敗死したため、実行されずに終わった。その後、道鏡が称徳天皇の信任のもとで権勢をふるったが、天皇の死去とともに失脚した。新たな天皇には、天智天皇の孫にあたる[エ]が擁立され、律令政治の再建がめざされた。

問4 空欄[ウ]・[エ]に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [11]

- ① ウー契丹 エー光仁天皇
- ② ウー契丹 エー孝徳天皇
- ③ ウー渤海 エー光仁天皇
- ④ ウー渤海 エー孝徳天皇

問5 下線部^㉞について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [12]

- ① 天皇から「恵美押勝」の名を賜った。
- ② 娘の光明子をのちの聖武天皇に嫁がせた。
- ③ 百万町歩の開墾計画を策定した。
- ④ 吉備真備と玄昉を政権に登用した。

C 平安時代初期、桓武天皇は「オ」を設置して国司交替の際の事務引継ぎを監督させるなど、地方政治の再建をめざした。④嵯峨天皇の時期には、藤原氏北家が台頭し、以降、外戚関係をよりどころとしつつ、他氏排斥を展開していった。そして、10世紀後半に摂関常置体制が確立された後、⑤藤原道長と頼通の時代に摂関政治が全盛をむかえた。

その後、藤原氏を外戚にもたない後三条天皇が即位すると、摂関政治に転換期が訪れた。後三条天皇は「カ」を発し、摂関家の荘園も整理の対象とした。ついで即位した白河天皇は、子の堀河天皇に譲位し、院政を開始した。

問6 空欄「オ」・「カ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 「13」

- ① オ－勘解由使 カ－延喜の荘園整理令
- ② オ－勘解由使 カ－延久の荘園整理令
- ③ オ－検非違使 カ－延喜の荘園整理令
- ④ オ－検非違使 カ－延久の荘園整理令

問7 下線部④に関連して、9～10世紀の政争に関する事項について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 「14」

- ① 平城太上天皇の変の際に、藤原広嗣が処刑された。
- ② 承和の変により、菅原道真は大宰府に左遷された。
- ③ 応天門の変を題材として、『信貴山縁起絵巻』が描かれた。
- ④ 藤原基経の関白就任を命じる勅書をめぐり、阿衡の紛議が起こった。

問8 下線部⑤に関する次の文Ⅰ・Ⅱの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 「15」

- Ⅰ 摂政や関白などを歴任し、「御堂関白」と称された。
- Ⅱ 後一条・後朱雀・後冷泉の3代の天皇は外孫であった。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

第3問 中世の政治・文化に関する文章A～Cを読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 白河上皇をはじめ歴代の上皇は、仏教をあつく信仰した。11世紀後半以降、白河天皇が造立した \square ア \square など、六勝寺と総称される寺院がつくられ、大規模な法会も行われた。

この頃に台頭したのが平氏である。上皇は、源氏勢力の伸張に対する警戒心もあって平氏を重用した。後白河天皇と \square イ \square の皇位継承をめぐる対立を要因の一つとして起こった保元の乱の際には、[Ⓐ]平清盛らが活躍し上皇側を破った。ついで起こった平治の乱では、清盛は源義朝や藤原信頼を滅ぼし、権力基盤を固めた。そして、平氏一族が高位高官を独占し、政権を手中におさめた。

問1 空欄 \square ア \square ・ \square イ \square に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 \square 16 \square

- ① アー法勝寺 イー崇徳上皇
- ② アー法勝寺 イー順徳上皇
- ③ アー法成寺 イー崇徳上皇
- ④ アー法成寺 イー順徳上皇

問2 下線部[Ⓐ]に関する次の文I・IIの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 \square 17 \square

- I 娘の徳子を高倉天皇の中宮として入内させた。
- II 大輪田泊を修築するなどして日宋貿易を推進した。

- ① Iー正 IIー正 ② Iー正 IIー誤
- ③ Iー誤 IIー正 ④ Iー誤 IIー誤

B 1180年、後白河法皇の皇子以仁王は平氏打倒をめざして令旨を發し、諸国の武士らに拳兵を呼びかけた。これに呼応して、源氏や大寺院の僧兵らが拳兵し、治承・寿永の乱が起こった。この戦乱のさなか、源頼朝は鎌倉に拠点を置き、組織を整備していった。

その後、承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、西国に勢力を拡大した。承久の乱後、[ⓑ]北条泰時のもとで、合議制にもとづく政治体制がとられた。一方で、幕府の支配層は臨濟宗を保護した。北条時頼は南宋から来日した **ウ** を鎌倉に招き、建長寺を創建した。また、北条時宗の時代には、南宋から無学祖元が招かれ、円覚寺が創建された。円覚寺舍利殿は、**エ** の代表的な建造物として知られる。

問3 空欄 **ウ** ・ **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

- ① ウー夢窓疎石 エー大仏様
- ② ウー夢窓疎石 エー禅宗様
- ③ ウー蘭溪道隆 エー大仏様
- ④ ウー蘭溪道隆 エー禅宗様

問4 下線部[ⓑ]について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① 御成敗式目を制定し、訴訟を公平に裁く基準を示した。
- ② 引付衆を任命し、所領に関する訴訟を担当させた。
- ③ 困窮する御家人を救済するため、永仁の徳政令を發布した。
- ④ 有力御家人の一人である和田義盛を滅ぼした。

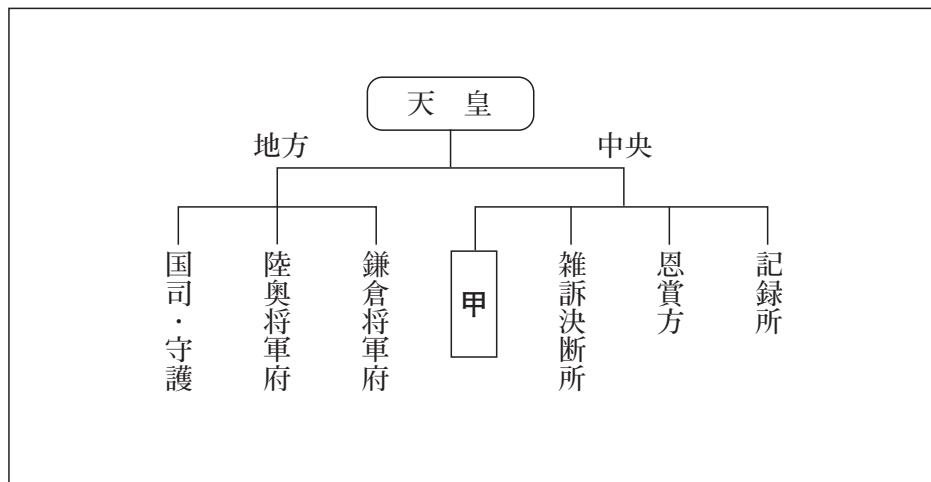
C 鎌倉幕府の滅亡後、^c建武の新政の時期を経て室町幕府が開かれた。室町幕府も臨濟宗を保護し、3代将軍足利義満の頃には、^d五山・十刹の制が確立された。臨濟宗とは対照的に、日蓮宗には弾圧が加えられることがあった。6代将軍足利義教は、法華信仰を強く勧めてきた日親を厳しい拷問にかけた。

義教の強硬な姿勢は、守護らに対しても同様で、義教は有力な守護を弾圧した。その後、義教は「オ」で暗殺され、将軍の権威は動揺した。将軍の権威は、「カ」を推す日野富子と足利義視の間の家督争いや、有力守護家内部の家督争いが絡んで発生した応仁の乱で、弱体化がさらに加速した。これにより、下剋上の風潮が全国に広がり、戦国大名が群雄割拠する時代をむかえた。

問5 空欄「オ」・「カ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① オー正中の変 カー足利義尚
- ② オー正中の変 カー足利義昭
- ③ オー嘉吉の変 カー足利義尚
- ④ オー嘉吉の変 カー足利義昭

問6 下線部㉓に関連して、次の職制図に関して述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 21



- a この図は、建武政府の職制をあらわしたものである。
- b この図は、室町幕府の職制をあらわしたものである。
- c 図中の 甲 には、侍所が入る。
- d 図中の 甲 には、武者所が入る。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問7 下線部㉔に関して、五山の別格上位とされた寺院として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 大徳寺 ② 南禅寺 ③ 天龍寺 ④ 永平寺

第4問 近世の政治・社会や経済に関する文章A～Cを読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 戦国大名は、家臣団統制のため、寄親・寄子制にもとづいて家臣団を組織するとともに、国人や地侍らの収入を「ア」を基準に把握して、それに見合った軍役を課した。

戦国時代はこのような軍事力を背景として進んだが、^a織田信長が登場すると、新たな動きがみられた。信長は強大な軍事力と経済力をもとに全国統一を進めたが、本能寺の変で敗死した。信長の統一事業を継いだ豊臣（羽柴）秀吉は、朝廷の権威も利用しつつ全国統一を実現させた。秀吉は統一過程で獲得した領地に太閤検地を実施し、公定枬として「イ」を採用し、統一した基準で全国の生産力を把握しようとした。また、兵農分離政策も推進し、近世社会の基礎を形づくった。

問1 空欄「ア」・「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① アー貫高 イー京枬
- ② アー貫高 イー宣旨枬
- ③ アー石高 イー京枬
- ④ アー石高 イー宣旨枬

問2 下線部^aについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 領国支配のため、分国法の『塵芥集』を制定した。
- ② 比叡山延暦寺の焼打ちを行い、強大な宗教的権威を屈伏させた。
- ③ 海賊取締令を出し、倭寇などの海賊行為を禁止した。
- ④ 中国地方で勢力を誇っていた陶晴賢を滅ぼした。

B 1603年、徳川家康は征夷大将軍の宣下を受け、江戸幕府を開いた。これ以降、朝廷・百姓・大名らに対する統制を進めていった。

江戸時代の身分制社会の割合のうち、もっとも多くを占めたのは百姓であった。㉞幕府は、税負担を課せられた本百姓の維持に特に力を注いだ。3代将軍徳川家光の時代にウが出され、本百姓が土地を失い、没落するのを防ごうとした。その一方、大名に対しては幕府創設以来武断政治がとられ、その結果、牢人が増加した。1651年にエが起こると、文治政治への転換がはかられた。

㉟5代将軍徳川綱吉の代がわりの武家諸法度では、第1条の条文が「文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事」と改められた。その後、新井白石が政治を主導した時期にも、文治主義にもとづく政策が実施された。

問3 空欄ウ・エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① ウー分地制限令 エー大塩の乱
- ② ウー分地制限令 エー由井（比）正雪の乱
- ③ ウー田畑永代売買の禁止令 エー大塩の乱
- ④ ウー田畑永代売買の禁止令 エー由井（比）正雪の乱

問4 下線部㉞に関連して、江戸時代の本百姓や農業について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 本百姓には、本途物成や小物成などの負担が課せられた。
- ② 本百姓は、村政に参加することが認められていなかった。
- ③ 街道筋近辺の村には、宿駅に人馬を出す助郷役が課された。
- ④ 脱穀用の千歯扱や、選別用の唐箕などの農具が考案された。

問5 下線部㉟の時期の政策に関する次の文Ⅰ・Ⅱの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

- Ⅰ 萩原重秀の建議にもとづき、正徳小判を鑄造した。
- Ⅱ 参勤交代を制度化し、大名の妻子の江戸居住を強制した。

- ① Ⅰー正 Ⅱー正 ② Ⅰー正 Ⅱー誤
- ③ Ⅰー誤 Ⅱー正 ④ Ⅰー誤 Ⅱー誤

- C ④ 江戸時代には飢饉があいついで発生し、大きな被害をもたらした。飢饉が発生した際には、農村から都市への人口移動が進み、都市の治安が悪化するなど社会不安が広がった。そのため、飢饉対策は幕府の重要な政策であった。

寛政の改革期には、老中松平定信が飢饉への備えとして「オ」を命じた。定信は、その他にも江戸の治安改善に向けて、無宿人を収容して職業訓練を積ませる人足寄場を設置した。

一方で、大量の農民が江戸など都市に流入していたため、農村の荒廃が進んでいた。そこで、天保の改革を主導した水野忠邦は「カ」を発し、江戸に居住していた農村出身者に対して帰郷を強制した。

- 問6 空欄「オ」・「カ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 「28」

- ① オー囲米 カー人返しの法
- ② オー囲米 カー旧里帰農令
- ③ オー上げ米 カー人返しの法
- ④ オー上げ米 カー旧里帰農令

- 問7 下線部④に関連して、飢饉の際には一揆が頻発した。代表越訴型一揆における義民として伝承された人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 「29」

- ① 二宮尊徳 ② 安藤昌益 ③ 佐倉惣五郎 ④ 大岡忠相

第5問 近現代の外交・政治に関する文章A～Cを読み、次の問い(問1～7)に答えよ。

A 1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官のペリーが浦賀に来航し、開国を要求した。同年にはロシア使節の も来航し、開国と国境画定交渉を要求した。翌年再び来航したペリーとの間で日米和親条約が結ばれ、その後ロシアなどとも同様の条約が結ばれた。ついで安政の五カ国条約が結ばれ、1859年には欧米諸国との貿易が始まった。

不平等条約は明治政府に引き継がれた。政府は条約改正交渉を進めるかたわら、朝鮮などをめぐり清国と対立した。^a1880年代、朝鮮における日本の影響力は大きく後退した。日清関係が緊張する中、1894年に が起こると、日清両国軍が朝鮮に出兵し、日清戦争が勃発した。戦争に勝利した日本は、朝鮮における清国の影響力の排除に成功したが、かわってロシアが朝鮮に勢力を伸ばし、日本との対立を深めた。そうした中で、^b1904年に日露戦争が勃発した。しかし、翌年には両国ともに戦争継続が困難となり、アメリカの斡旋で講和条約が結ばれた。

問1 空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アープチャーチン イー甲午農民戦争 ② アープチャーチン イー義和団事件
③ アーレザノフ イー甲午農民戦争 ④ アーレザノフ イー義和団事件

問2 下線部^aに関連して、1870～80年代に朝鮮で起こった出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 閔氏一族に反対する軍隊が、大院君を担いで壬午軍乱を起こした。
Ⅱ 日本の軍艦が、首都近くの江華島で朝鮮側を挑発して戦闘になった。
Ⅲ 金玉均ら親日改革派(独立党)がクーデタを起こしたが、失敗に終わった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問3 下線部⑥に関連して、日露戦争およびポーツマス条約に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 市川房枝が、反戦詩「君死にたまふこと勿れ」を発表した。
- ② ポーツマス条約締結時の日本全権は、寺島宗則であった。
- ③ ポーツマス条約により、千島全島は日本領となった。
- ④ 講和内容に不満を持った民衆らが、日比谷焼打ち事件を起こした。

B 第一次世界大戦が勃発すると、日本は日英同盟を理由に参戦し、山東半島の「ウ」などを占領した。大戦はドイツの降伏によって終結し、パリ講和会議が開催され、日本からは全権として③西園寺公望らが派遣された。会議においてヴェルサイユ条約が結ばれ、日本の山東省の旧ドイツ権益の継承などが認められた。

大戦後、アメリカ・イギリス・日本を中心に建艦競争が過熱し、各国の財政を圧迫していた。この財政問題に加えて、日本の対外膨張を抑制しようとする思惑もあり、アメリカ大統領ハーディングの提唱でワシントン会議が開かれた。この会議では、四カ国条約や九カ国条約、「エ」の保有量を制限するワシントン海軍軍縮条約が結ばれ、アジア・太平洋地域における新たな国際秩序が形成された。

問4 空欄「ウ」・「エ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① ウー旅順 エー補助艦
- ② ウー旅順 エー主力艦
- ③ ウー青島 エー補助艦
- ④ ウー青島 エー主力艦

問5 下線部③に関して、第一次西園寺内閣の政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 鉄道国有法を公布し、主要な民営鉄道を買収した。
- ② 治安警察法を公布し、労働運動などを取り締まった。
- ③ 品川弥二郎内務大臣を中心に、大規模な選挙干渉を行わせた。
- ④ 衆議院議員選挙法を改正し、選挙権の納税資格を3円以上に引き下げた。

C 1920年代末以降、中国では国権回復運動が盛んになった。そうした状況に加えて、当時の日本政府の協調外交に危機感をおぼえた関東軍が「オ」をひき起こし、満州事変が始まった。関東軍は満州の主要な地域を占領し、溥儀を執政とする満州国を建国した。この一連の行動に対して国際的な非難が集まり、最終的に日本は国際連盟から脱退した。その後、日本は日中戦争、太平洋戦争を経て敗戦した。

敗戦後、日本は連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の占領統治下に置かれ、^①民主的な改革が進められた。一方、国際社会では第二次世界大戦後に冷戦体制が成立し、アメリカとソ連の対立が深まった。1950年には朝鮮戦争が勃発し、アメリカは日本を自らの陣営に編入しようとする動きを強めた。そして、1951年にサンフランシスコ平和条約が結ばれ、翌年に条約が発効したことで日本は独立を果たした。その後、鳩山一郎内閣は1956年に「カ」に調印し、ソ連と国交を正常化し、国際連合加盟を実現させた。

問6 空欄「オ」・「カ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① オー柳条湖事件 カー日ソ基本条約
- ② オー柳条湖事件 カー日ソ共同宣言
- ③ オー盧溝橋事件 カー日ソ基本条約
- ④ オー盧溝橋事件 カー日ソ共同宣言

問7 下線部①に関連して、マッカーサーから「婦人参政権の付与」など五大改革を口頭で指示された首相として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 芦田均
- ② 片山哲
- ③ 吉田茂
- ④ 幣原喜重郎

(日本史の問題は終わり)